

第3学年3・4組 女子 保健体育科学習指導案

指導者 教諭 栗井 雅子

1 題材名 文化としてのスポーツの意義「体育理論」

2 題材について

(1) これまで体育実技の中で関連づけて学習されてきた体育理論は、学習内容の明確化・体系化を中心に改訂され、座学で行う独立単元として各学年に配当し、充実を図ることとなった。

第3学年での学習は、体づくり運動、ダンス、野外活動などを含む広義のスポーツが、人々の生活や人生を豊かにするかけがえのない文化になっていること、また、そのような文化としてのスポーツが世界中に広まっていることによって、現代生活の中で重要な役割を果たしていること等、スポーツの意義を理解させることをねらいとしている。

生徒にとって身近な社会である学校においても、時代、季節、地域、その学校の日々の教育活動から生み出される学校文化があり、運動会は文化祭と並んで、その学校文化の中核を担っている。しかしながら、この運動会をとっても、運動実践の二極化から、ゲーム性を楽しむことのみならず主眼がおかれ、スポーツの意義や価値が高まることなく、実生活に生かせる意欲や態度に結びつかない問題がある。本題材は、「健やかな心身」「豊かな交流」「伸びやかな自己開発」といった視点から文化としてのスポーツの意義を考え、スポーツには、さまざまな違いを超えて人々を結びつける文化的な働きがあることを理解し、豊かなスポーツライフを実現する意欲や態度を育てる題材として価値がある。

(2) 3組16名、4組15名、計31名である。運動部に所属していた生徒は14名で、日常生活の中でスポーツに親しむ機会が少ない生徒が比較的多いグループである。体育の学習は意欲的に取り組み、楽しく活動している。一方、生活習慣の乱れや心身、対人関係の不安などから、見学、欠席がちな生徒が数名いる。

1学期に行われた運動会や総体は、集大成の場として一生懸命取り組んだ。運動会では、生徒会役員、保体委員、ダンスリーダーが中心となり、部活動では主将やエースが率先して活動して、主体的に目標達成を目指すことができた。これらの経験から、1・2年時には感じることができなかったスポーツの価値を実感できた生徒は数多い。

(3) 本題材の指導にあたっては、焦点化、視覚化、構造化、共有化を支援策として取り入れ、ユニバーサルデザインの授業を工夫し、主体的な学習活動を促した指導をしたい。

・ リアリティを感じ、興味をもって学習に取り組むことができるよう、学校文化である運動会やクラスマッチ、オリンピック競技大会等の国際大会を取りあげ、その映像や画像等視覚的な資料を提示する。 《視覚化》

・ 新たな気づきが得れるよう、視点にそって分類、整理したり、よりよい考えにまとめたりする活動を、グループでの意見交流の中で行わせる。 《共有化》

・ 多様な意見を分類、整理して考え、スポーツの意義や価値を共有できるよう、スポーツ文化としての特性から具体的な視点を与え、話し合わせる。 《焦点化》

・ 学習課題、課題解決の視点、獲得できた文化としてのスポーツの意義を板書で分かりやすく整理して示し、ワークシートも同じ形式でまとめられるように作成する。 《構造化》

3 目標

(1) スポーツは、健やかな心身、豊かな交流、伸びやかな自己開発の機会を提供するといった文化的意義を持っていることを理解することができる。

(2) 運動会を含めたスポーツ大会は、スポーツの持つ教育的意義や倫理的な価値を伝え、人々の相互理解を深める役割を果たしており、国際的な大会やオリンピック競技大会などは、それをさらに、世界規模に広げ、国際親善や世界平和に寄与していることを理解することができる。

(3) スポーツには、民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結びつける文化的な働きがあることを理解することができる。

4 学習指導計画

- | | |
|-------------------------------|------------|
| (1) 現代生活におけるスポーツの文化的意義 | ・・・1時間（本時） |
| (2) 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な意義や役割 | ・・・1時間 |
| (3) 人々を結びつけるスポーツの文化的な働き | ・・・1時間 |

5 本時の学習指導

(1) 題材名 『運動会から得たもの(意義)を考えよう!』

(2) 目標

- ・ブレインストーミングに積極的に取り組み、自分が感じた運動会の意義を語り、友だちの感想を受容、共感しながら聞くことができる。
- ・ワークシートに自分の考えを書き、友だちの考えや3つの視点を参考に、文化としてのスポーツの意義について理解を深めることができる。
- ・運動会で感じた意義から、これからの生活に生かせるものを見つけることができる。

(3) 学習指導過程

形態	活動内容	予想される生徒の反応	指導・支援と評価
全	1 運動会を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかった。 ・感動した。 ・長縄跳び、女子ダンス、男子組み立て、全校での白峰よさこいソーラン、力一杯できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心に残ったプログラムを発表する。 ・運動会の動画や練習時の様子を伝える掲示(画像)を提示する。《視覚化》
個	2 運動会からどんなものを得たか考える。		
運動会から得たものを考えよう!			
班	<p>(1) 運動会で心に残ったことを振り返り、その意義を考え、ワークシートに記入する。</p> <p>(2) 自分が感じた意義を、3つの視点で分類して整理する。</p> <p>① 心身の成長 ② 豊かな交流 ③ 私開発 (伸びやかな自己開発)</p> <p>(3) それぞれが感じた意義をグループ内で発表し合い、全体に伝えたいことや大事にしたいことをピックアップする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスは難しかったけど、上達して、好きになった。(①③) ・男子の組み立て体操の成功を、自分のことのように喜んだ。(①) ・長縄とび100回や優勝を目指して、一生懸命跳んだ。走った。(①) ・後輩にダンスを教え、自信がもてた。成長を感じた。(①②③) ・友だちや家族に応援や称賛の言葉をもらって嬉しかった。(②③) ・友だちも同じ意義を感じたんだな。 ・よく似た体験や感想だけど、違った視点でとらえることもできるんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちや家族からもらった言葉や自分が感じたことを思いおこすことができるよう、運動会後の感想文を手がかりにさせる。 ・体験から何を得たかを考えて、自分なりの言葉で書くよう助言する。 ・ワークシートや付箋を活用して、自分が感じた意義を、3つの視点に分類して整理させる。 《構造化》《焦点化》 ・視点間で重なりがある分類図をつくり、複数の視点に当てはまることも認める。 ・運動会での役割や普段の運動実践の様子等を考慮してグループを編成する。 ・各班を机間指導し、話し手は具体的に話し、聞き手は多様な考えを受容と共感をもって聞くよう助言を与える。《共有化》 ・「見る人=家族」や「支える人=教師」が感じた意義を紹介し、さらに視野を広げる。 ・オリンピックと同様の意義を生み出した白峰中学校の運動会(=スポーツを通しての学校文化)をつくったことを称賛する。
全	3 各グループで話し合ったことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会で得たものは、たくさんあった。 ・運動会を「見た人」「支えた人」にとっても、意義があったんだ。 ・運動会は、私たちにとって、リビックに負けないくらい意義があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「見る人=家族」や「支える人=教師」が感じた意義を紹介し、さらに視野を広げる。 ・オリンピックと同様の意義を生み出した白峰中学校の運動会(=スポーツを通しての学校文化)をつくったことを称賛する。
	4 今後を生かしたい運動会の意義を、ランキングで表す。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動でも、仲間と一緒にがんばろう。 ・これからの体育でも、チャレンジを楽しもう。 	<p>評 3つの分類でランキングをつくり、自分の生活に合わせて、具体的な内容や生かす場面を、書くことができたか。</p>